保険薬局 → 薬剤部 → 主治医（薬剤部）

**FAX：048-648-4833**

自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部　御中 報告日：　　　年　　月　　日

薬剤情報提供書（トレーシングレポート）

|  |  |
| --- | --- |
| 担当医 　　　　　　　　科先生　御侍史 | 保険薬局　名称・所在地・電話番号・FAX番号 |
| 患者ID：患者氏名： |
| 担当薬剤師名：　　　　　　　　　　　　　印 |
| * この情報を伝えることに対して患者の同意を得ました
* 患者は主治医への報告を拒否していますが、治療上重要だと思われますので報告いたします
 |

処方せんに基づき調剤を行い、薬剤交付いたしました。

下記の通り、ご報告いたしますので、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

＊レジメン名（化学療法の場合）：【　　　　　　　　　】

|  |
| --- |
| ＜所見＞ |
| ＜薬剤師としての提案事項＞ |
| ＜注意＞　本FAXによる情報伝達は、疑義照会ではありません。緊急性のある疑義照会は通常通りE-Mailまたは電話にてお願いします。＜返信欄＞ |
| * 報告内容を確認しました
* 次回から提案通りの内容に変更します
* 提案の意図は理解しましたが、現状のまま継続し、経過観察します
* 提案の内容を考慮し、以下の様に対応します
 |

　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　 医師名

薬剤師名

＊自治医大さいたま医療センター薬剤部使用欄

* トレーシングレポートの原本を病歴室へ提出した（電子カルテに取り込む）

自治医大さいたま医療センター用　　　　　　　　　　　　　　薬剤部 → 保険薬局 → 主治医（薬剤部）

薬剤情報提供書（トレーシングレポート）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 保険薬局名 | 御中 | 施設名 | 自治医大さいたま医療センター |
| 電話番号 |  | 電話番号 | 048-647-2111（代） |
| FAX番号 |  | FAX番号 | 048-648-4833（薬剤部直通） |
| 担当薬剤師 | 先生 | 担当薬剤師 |  |
| ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  | ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |
| 患者氏名 | 　　　　　　　　　（患者ID：　　　　　　） 男・女　　　　年　　月　　日生（　　歳） |

医薬品に関する情報の連携を行うため、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

* 情報提供をお願いします
* 情報提供をいたします

＜項目＞

□処方薬　□OTC・ｻﾌﾟﾘﾒﾝﾄ等の使用　□調剤上の留意点　□副作用･アレルギー（歴含む）　□服薬状況等

□その他（　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |
| --- |
| ＊レジメン名（化学療法の場合）：【　　　　　　　　　】 |
| その他特記事項 |
| ＜返信欄＞ |
| * 報告内容を確認しました
* 情報提供いたします
* 提案の内容を考慮し、以下の様に対応します
 |

　　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　保険薬局名

薬剤師名

＊自治医大さいたま医療センター薬剤部使用欄

* トレーシングレポートの原本を病歴室へ提出した（電子カルテに取り込む）

2018年3月9日

保険薬局　各位

自治医科大学附属さいたま医療センター

薬剤部長　長谷部忠史

薬剤情報提供書（トレーシングレポート）の運用について

（お知らせ）

　平素より、当院発行の院外処方箋を応需いただき、ありがとうございます。

保険薬局におかれましては、来局時に患者から聞き取った内服薬のアドヒアランス状況や健康食品の使用に関する情報など、即時性が低いながらも時に重要な情報について、処方医師へ情報提供する手段や機会が少ないのが現状であったと思われます。

そこで、これらの情報を診療に活かすべく、自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部では薬剤情報提供書（トレーシングレポート）の運用を始めることにしました。

まずは、がん領域において、下記の通り運用を開始いたします。

対象：がん化学療法を受けている患者

内容：当院薬剤部から保険薬局への情報提供または情報提供依頼

保険薬局から処方医師または薬剤部への情報提供

連絡方法：FAX（薬剤部直通：048-648-4833）

共有方法：薬剤部にて集約したのち、医師へ伝達・共有

地域保険薬局との連携を推進・強化することで、適正で安全な薬物療法推進につながるものと考えます。保険薬局各位のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先

自治医科大学附属さいたま医療センター

薬剤部　鈴木 栄　新津 京介　中澤 絋（オンコロジー担当）

048-647-2111（代）内線2707

薬剤情報連絡書（トレーシングレポート）」 記載要領（日本薬剤師会抜粋）

* 「薬剤情報連絡書（トレーシングレポート）」は、入院・在宅などにより患者の療養環境が変化しても、患者が安全で安心な薬物療法が継続して受けられるように、各施設（病院、診療所、薬局等）の薬剤師が患者情報を提供し合う際に活用することを目的とするものです。
* 本記載要領は、「薬剤情報連絡書（トレーシングレポート）」の基本的な書き方を示したものです。

**記載上の留意点**

* 「薬剤情報連絡書（トレーシングレポート）」は患者への情報提供を目的とするものではなく、薬剤師同士が情報を提供し合う際に使用するものです。

しかし、原則的には患者に情報公開されるものであり、患者等から開示が求められれば、正当な理由がなければ開示を拒否することはできません（個人情報保護法第25条、施行令第6条、ガイドラインⅢ7）。

したがって、記載に当たっては、患者や診療情報等を評価するような表現（例：コミュニケーション障害有り）は避けるなどの配慮が必要です。

* 他施設に情報を提供する際、あるいは照会への回答に用いる際に、「薬剤情報連絡書（トレーシングレポート）」のすべての欄に記載する必要はありません。提供する情報に応じて、必要と考えられる情報の欄のみにご記入ください。
* 「薬剤適正使用のための薬剤情報連絡書」を提供する側の施設においては、複写を薬歴へ添付するなどし、記録用として保存してください。

**記載内容**

1. 使用薬
	* 患者が現在使用している薬を、把握できる範囲ですべて記載してください。処方日数や数量等も可能な限り記載してください。また、経口以外の投与経路（経管・経腸等）の場合も併せて記載してください。
	* この「薬剤適正使用のための薬剤情報連絡書」のほかに、お薬手帳や薬剤情報提供文書等の別紙がある場合は、［□お薬手帳 □薬剤情報提供文書 □退院時服薬指導書］欄にチェックしてください。
	* 患者が複数医療機関（診療科）を受診している場合は、使用薬を医療機関ごとに記載してください。
	* 患者が常用している一般用医薬品、いわゆる健康食品等があれば併せて記載してください。
	* 屯用薬、一時的に処方（又は処方が中止）されている薬、休薬期間中の薬なども忘れずに記載してください。
2. 調剤上の留意点
	* 調剤上で工夫を行っている場合、対象薬剤が特定できるようにし、内容を詳細に記載してください。（粉砕、別包、脱カプセル、賦形、一包化、ライン引きの色、水剤の調製方法、簡易懸濁法など）
3. 副作用歴・アレルギー歴
	* 患者が過去に経験した副作用及びアレルギーについて記載してください。対象薬剤や症状などが判明している場合には、併せて記載してください。
4. 服薬状況等
	* 患者の医薬品管理の状況（自己管理、要介助等）、及び患者のコンプライアンスの状況を記載してください。
	* 薬の管理や服薬の介助を行っている者が分かっている場合には、併せて記載してください。
	* さらに、コンプライアンスが悪い場合は、その原因（例：飲み込み能力等）と対処法（例：錠剤はすべて潰し等）なども記載してください。
5. その他特記事項
	* 他施設（患者が次に薬物療法を受ける施設）の薬剤師等に伝えておく必要があると思われる事項を記載してください。

例（順不同）

1. 入退院日、次回外来予定日
2. 複数の使用目的で使用される医薬品（例：ステロイド剤等）や特別な用法・用量で用いられている医薬品の処方目的
3. 患者への服薬指導上で注意すべき事項（例：特殊な処方目的、病名告知の有無、詳細な副作用の説明の可否、プラセボ投与など）
4. 薬学的管理上必要となる主要な検査値、留意する検査値、TDMデータ
5. 過去の薬剤使用歴（例：入院中に使用した点滴・注射等）、退院時の処方に至った経緯、経過観察が必要な副作用の兆候
6. 使用しているガーゼやドレッシング剤等の規格・品質情報
7. 患者の理解度（服薬に関して患者の理解が十分でないと思われる事項）
8. 入院時と外来時で使用する医薬品の銘柄や規格等が異なる場合にはその理由
9. 患者の体質、ADL（日常生活動作）、視力・聴力、小児の場合の体重
10. 職業や日常生活上の特徴（高所作業、車輌の運転など）
11. 継続的治療・処置（透析、ペースメーカー、人工肛門など）
12. 患者又は家族など介護者の訴えや要望（例：後発医薬品希望）
13. 医薬品の保管状況
14. 健康保険上の特記事項（公費、一部負担金など）
15. 情報のフィードバックが必要な場合はその旨と連絡先（メールアドレスなど）

2020年1月29日改訂